

# 道南太平洋海域スケトウダラニュース

平成15年度 第1号 2003年9月30日

北海道立函館水産試験場室蘭支場

Tel: 0143-22-2327

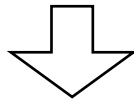
Fax: 0143-22-7605

## 道南太平洋海域スケトウダラ計量魚探調査結果

函館水試調査船金星丸により行われたスケトウダラ計量魚探調査の結果をお知らせします。

- ・調査期間：平成15年9月2日～9月9日
- ・調査海域：道南太平洋の水深100～500m海域

水深200m以深の水温は5℃以下とスケトウダラに好適  
分布の中心は登別から白老沖に形成  
分布水深は例年同様300m前後  
スケトウダラの平均反応量は昨年並みの低い水準



- ・漁場は例年同様漁期はじめに水深300m前後に形成
- ・魚の分布密度は胆振側で高い
- ・魚の来遊は昨年同様遅れている可能性

1. スケトウダラの分布する200m以深の水温は5℃以下となっていました。
2. スケトウダラは登別沖から白老沖（海区番号182）にかけて分布しており、渡島および日高支庁沿岸の反応は弱い結果でした（図1）。
3. 魚群反応は水深200～400mにありました。  
水深200～300mは体長20cm未満のスケトウダラ未成魚中心、300～400mはスケトウダラ成魚とイトヒキダラと思われます（図2）。
4. 調査海域の平均反応量は、昨年並みの低い水準でした（図3）。
5. 現在のところ、水温環境はスケトウダラにとって好適なようです。
7. スケトウダラ成魚の分布水深は例年同様なので、漁期はじめには水深300m前後に漁場が形成されるでしょう。
8. スケトウダラの反応量が少なかったことから、魚の来遊が遅れていると考えられます。  
昨年同様に10～11月の漁獲は低くなる可能性があります。
9. 漁期前の計量魚探調査の結果は、漁期はじめの状態を調べる調査です。今後10月末、11月末、1月中旬にも調査を予定しています。

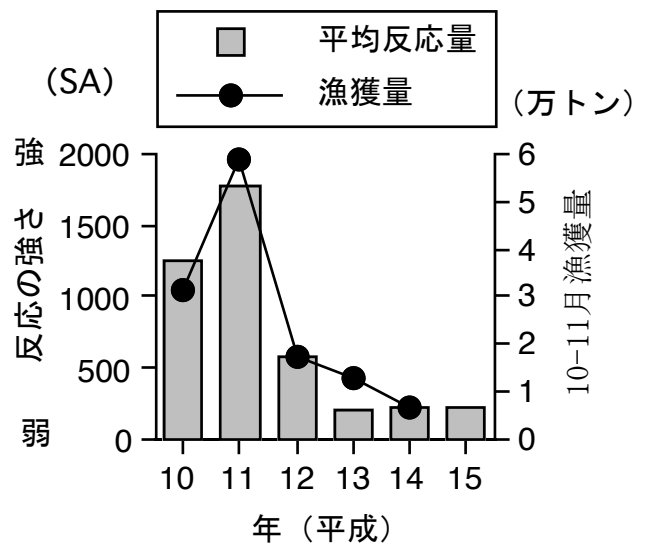


図3. 9～10月のスケトウダラ平均反応量と10～11月の漁獲量

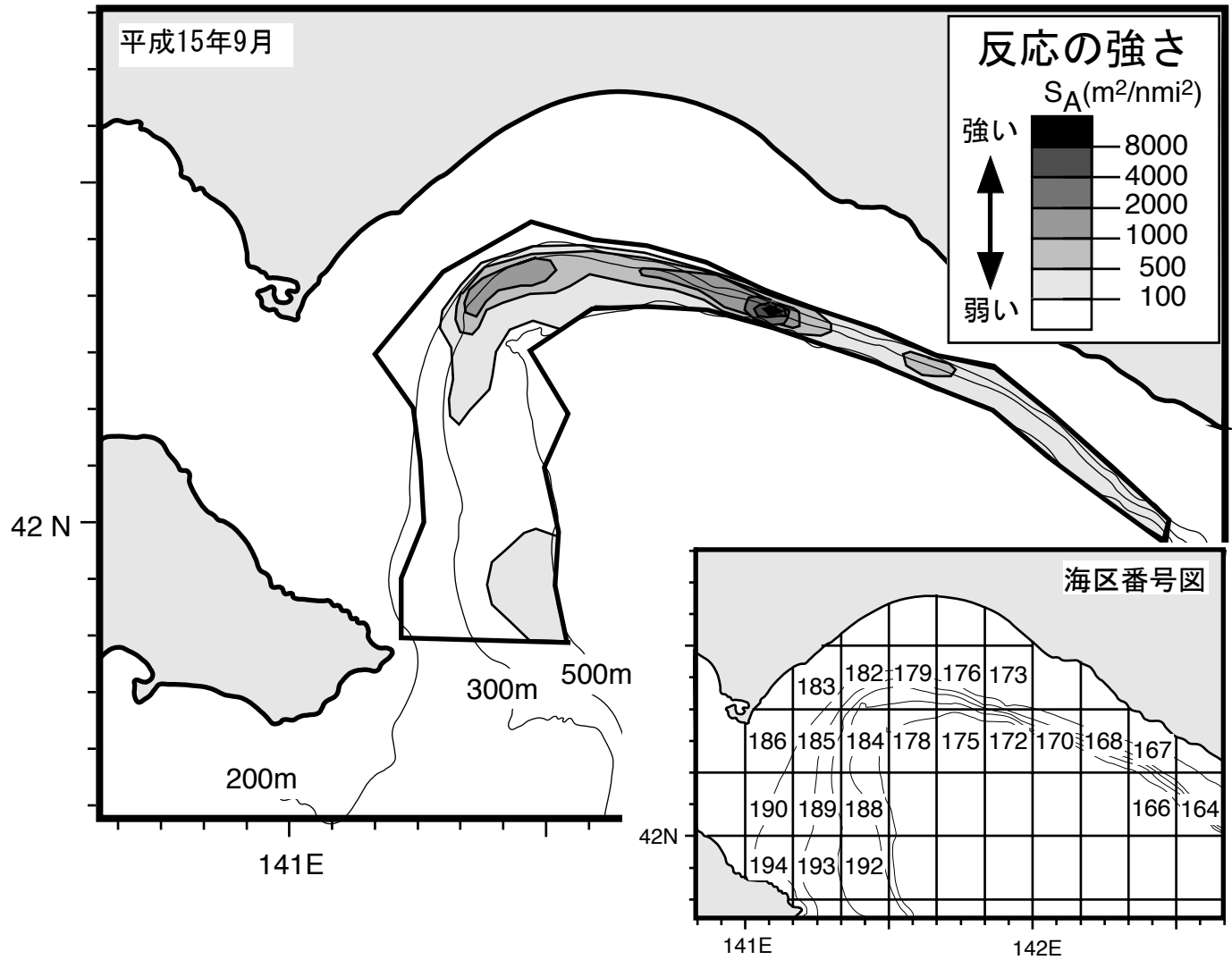


図1. 平成15年9月のスケトウダラの分布（計量魚探調査）

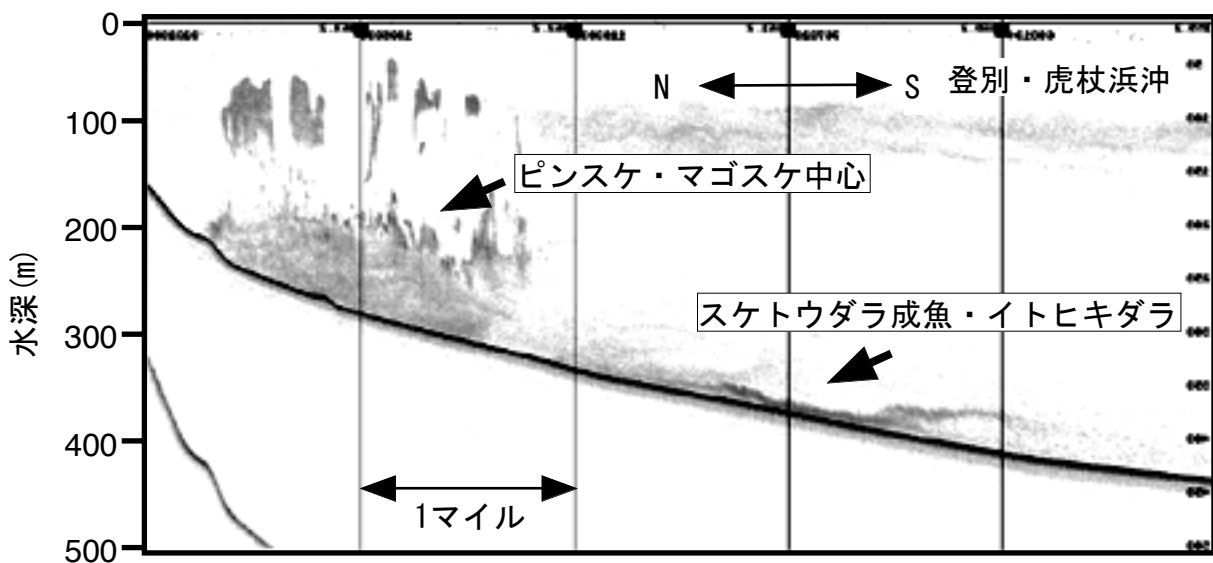


図2. 平成15年9月上旬の魚探画像